令和　7　年　4　月　25 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…湖北ふれあいＡｏｉ
サービス種類　地域密着型介護老人福祉施設
　　　　　　　小規模多機能型居宅介護

会議開催日…令和 7 年 4 月 22 日　　　14：00～15：00

開催場所　Ａｏｉ地域交流ホール
出席者

松江市職員	2 人	地域代表者	2人
事業所	3 人		

１.状況、活動状況の報告
　別紙添付
　＜出席者より＞
　・特養の苦情（カスハラ）について
　　いろいろな現場で増えている。周囲の人達に与える影響も考えないといけない。
　　エスカレートしたら、職員が辞めることに発展するかもしれない。
　　コロナの中、面会ができなかったせいか今までよりひどくなってきている。
　　時代の変化とともに家族の高齢化かによりキレる人が増えてきた。
　　職場の中で方策を考えていかないといけない。
　　関わった職員のカウンセリングが必要かもしれない。
　　家族との面談、カスハラの研修をしたらどうか。
　・小多機の転倒予防体操について
　　体操をすると強くなるのか？→入所時より足取りが良くなっていると思う。
　　杖はありますか？→杖は置いていません。
　・要支援の人達の行き場が少なくなっている理由は？
　　サービスが限定されている。→入浴がない、利用時間が短い等考えられる。
　＜その他＞
　・自家用電気工作物試験を実施→計画停電により自家用電気稼働試験
　・8 月地震体験（消防署に依頼予定）実施
　・松江市職員担当者交代

以上

令和７年４月４日

令和７年４月小規模多機能型居宅介護 Aoi　運営推進会議報告書

①　登録者数・介護度（R7.3 月末日現在）

介護度	要支援１	要支援２	介護１	介護２	介護３	介護４	介護５	合計
女性	1	4	4	4	0	1	0	14
男性	0	1	0	0	0	1	0	2

２月新規登録者　３名
３月新規登録者　１名

②　２月平均介護度：1.9

③　３月平均介護度：1.8

④　＜2 月平均年齢：89.1 歳
70 歳代：0 名
80 歳代：7 名
90 歳代：7 名
100 歳代：1 名
＜3 月平均年齢：89.5 歳＞
70 歳代：0 名
80 歳代：7 名
90 歳代：8 名
100 歳代：1 名

⑤　利用状況　２月

サービス内容	通所介護	訪問介護	泊り
利用延べ人数	250 名	9 名	147 名

利用状況　３月

サービス内容	通所介護	訪問介護	泊り
利用延べ人数	273 名	6 名	170 名

⑥　行事報告

＜2月＞

【節分祭】

新聞を丸めて作る豆やゲームで使用する鬼の塗り絵をしたりと、準備から利用者様に携わって頂きました。童心に帰って楽しんで頂きました。

＜3月＞

【ひな祭り】

ひな人形を飾って頂いたり、写真撮影をして季節感を感じて頂きました。

⑦　研修報告

＜2月＞

内部研修　接遇マナー研修

外部研修

＜3月＞

内部研修　事例検討

外部研修

⑧　ヒヤリハット・事故・苦情報告（R7.2、R7.3月）

（ヒヤリハット）：6件

①居室内を靴を履かずに歩いておられた。

対応：センサー対応、歩行器をベッド近くに置いて転倒を防ぐ。

②来所時服用して頂く薬を忘れ、昼食後に服用してもらう。

対応：朝お茶を出す場所に薬を用意して忘れないようにする。

③職員が当日外出利用者家族に間違えた情報を話してしまう。

対応：当日の外出利用者の確認を必ず行う。また、家族からの電話は内容を復唱するようにする。

④利用者をトイレ誘導しパッドを取りに行ったほんの瞬間に自分で車椅子に移って放尿されていた。

対応：トイレに誘導後、目を離さない位置にいる。

⑤泊り利用者の帰りの荷物を準備していると、バスタオルと下着がないことに気が付く。探すと他の利用者のタンスの中から出てきた。

対応：持ち物に記名がなかったので、必ず書いてもらう。持ち物が不明の場合、他の職員に相談し1人で勝手な判断をしない。

⑥朝食後ホールの床に薬が落ちていた。

対応：服薬自己管理の利用者だが、服用時は見守りする。

（事故報告）：2 件

①ホールで口腔ケア後、自席に帰る際足がもつれて転倒される。

対応：歩行状態が悪い時は車椅子を使用する。転倒予防体操をして下肢筋力低下を防ぐ。

②起床後トイレに行かれ転倒される。

対応：普段独歩であるが、転倒リスクがあることを認識して対応する。ふらつきが続くようであれば受診を促す。

（苦情報告）：0 件